

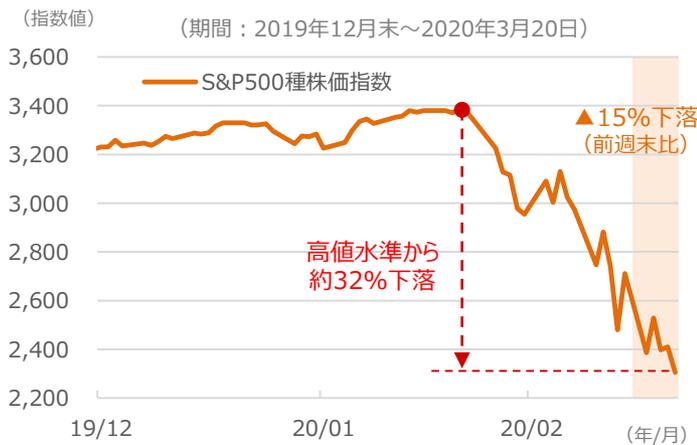
## 先週の米国株式市場と今後の見通しについて

- 先週（3/16～3/20）の米国株式\*も、引き続き大荒れの展開となり、15%（前週比）下落しました。
- 新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、米国株式は年初来の高値から約32%下落しています。欧州を中心に感染拡大で経済活動をほぼ停止している地域も広がっており、下落前の水準まで回復するには、相応の期間が必要と考えています。 \*米国株式は、S&P500種株価指数を指します。

### 先週の米国株式市場（3/16～3/20）

- 週初にFRB（米連邦準備制度理事会）による1%の緊急利下げや、トランプ政権が検討する最大1兆ドル以上の財政出動を伴う景気対策など、リーマンショック時より素早い対応が行われていますが、先週の米国株式は、世界経済の景気後退は避けられないとの見方などから、約15%下落（前週比）と下落幅を拡大し、トランプ大統領が大統領選挙で勝利して以来の 最安値となりました。
- VIX指数（恐怖指数）がリーマンショック時とほぼ同じ水準まで急上昇するなど、新型コロナウイルスの感染拡大で市場は混乱しており、日々乱高下する相場環境が続いています。市場に十分な流動性を供給する対策は打たれていますが、国境封鎖、一部の経済活動自体を停止させる措置など、前例のない処置が取られていることが市場に先行きの不安感を与えています。

### 米国株式指数の推移



出所：FactSetデータをもとに明治安田アセットマネジメント作成

### 過去の米国株式の下落局面から回復までの事例

- 過去の米国株式の急落局面をみるとSARS流行時は経済活動を停止するような事態にならなかったこともあり、比較的早期の回復となった一方、リーマンショック時は下落幅が大きく、急落前の水準を回復するには約2年を要しました。今回の感染拡大による市場の混乱状況と単純に比較することはできませんが、リーマンショックに近い下落相場となっており、回復には相応の期間が必要と考えています。（下グラフをご参照ください）

#### SARS流行時のパフォーマンス推移\*



\* S&P500種株価指数（配当込み）を使用しています

#### リーマンショック後のパフォーマンス推移\*



出所：FactSetデータをもとに明治安田アセットマネジメント作成

## 今後の見通し

### 不安定な相場は続くも、市場心理が好転してくることで底打ちへ

新型コロナウイルスの感染拡大は続いており、世界経済の景気後退は避けられない状況となっています。米国株式市場は、今後も不安定な相場展開が続くとみえますが、各国の対応はリーマンショック後のものと比べると迅速であり、金融システムが危機に陥る可能性は低い状況にあると考えます。市場心理が回復してくることで、徐々に株価は回復に向かうと考えています。

### 財務体質が良好な優良銘柄に注目

米国株式は年初来の高値から約32%下落しており、財務体質が良好な銘柄や将来性のある有望な成長企業であるにも関わらず、株価が割安な状態にある銘柄も散見されます。このような企業の株価が反転し始めることで、市場心理も改善してくると思っています。

### 欧州の深刻な状況は懸念材料

パンデミックの中心となっている欧州企業（特にマイナス金利政策の副作用がある金融機関）の状況は懸念材料の一つで注視する必要があると考えます。



明治安田アセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第405号  
 加入協会：一般社団法人投資信託協会  
 一般社団法人日本投資顧問業協会

#### <ご留意事項>

- 当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。
- 当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。
- 投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。
- 当資料に指数・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。